

【公表】 事業所における自己評価結果

事業所名	児童ルームたちキッズ永岡
------	--------------

公表日

令和6年11月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・空間を目一杯用いた療育を提供している。	・訓練室等を使い分け、利用者の状況に応じ、環境を整備するなど工夫を行っている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・利用者の状況に合わせ配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・フラットな造りになっている為問題ないと思う。 ・要所要所に視覚支援が施されている。 ・段差等がなく身長が低い子に配慮されている。	・現在バリアフリーが必要な児童はいないが、今後の為にも検討していく。
	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		・今後も職員間で話し合いを行いながら改善に努めていく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・必要時はST室を活用している。	・構造上仕方がないが、クールダウンできる空間が少ないため、今後話し合いを行いながら改善に努めていく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・毎年目標を決める目標チャレンジシートなどを行っている。	・サイクルの速度を上げるとより質が向上できると考えている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者の皆様アンケートにご協力をいただき、評価を真摯に受け止め、業務改善に努めている。	・保護者の方の貴重なご意見に耳を傾け、よりよい支援を考えていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・出来る限り意向に沿えるよう、職員間で会議（ミーティング）を頻回に行い、業務改善へと繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		・現段階では、内部の評価のみとなっているが、今後は第三者による評価を検討していきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・外部や内部の委員会研修などが行われている。	・事業所の研修以外にも、希望する研修があれば積極的に各自受講を勧めていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・ホームページ等で積極的に公表している。	・5領域を関連づけた支援プログラムを作成していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・利用者や保護者のニーズを聞いた上で、個別支援計画を作成している。	・利用者の成長や心の状態を考慮しつつ、作成していきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員間で意見交流しながら取り組んでいる。 ・会議中だけでなく普段から全体で話している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・定期的に共有し、日々のミーティング時にも支援内容の確認をしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・必要に応じて、ツールの改善作業を行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・今年度より新様式に変更しており、特に新たな項目に関しては、分かりやすい説明を心がけている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・スタッフ同士で活動を提案し、全スタッフで把握しながら取組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・担当制にて回せている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別や集団を取り入れながら活動している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・日ごとに利用者と一緒に支援している。	・できない時もあるため、可能な限り努力していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	0	・気づいた点は当日に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・些細な事象であっても記載するよう気掛けている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・年2回以上実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・「4つの基本活動」を意識した、多様な療育や支援を行っている。	
関係機関や保護者の連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・児童に選択肢を与え、選んでもらうようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・他の職員にも情報などを聞き、会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		・今後さらに交流する機会を増やせるとより良い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・保護者や学校より情報提供いただき、送迎等適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・自事業所関連施設であれば見学しながら情報共有出来ている。	・積極性を持って情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・今は対象者がいない。	・必要に応じて情報共有を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・連絡をいただいた会議に積極的に出席している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・戸外活動などで地域とのこどもと自然なかたちでの交流はある。	・障がいに関わらず、他の子どもとの活動機会を検討していく。
保護者の連携	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	・連絡をいただいた会議に積極的に出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡帳や送迎時または面談時などに活動内容とご様子をお伝えするようにしている。	・送迎時の情報共有や、定期的な聞き取りを継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	・ご相談があったことに関して、療育での対応をお伝えし、家庭でできることを提案させていただいている。	・必要に応じて、研修会等で情報提供を行っていくよう努めていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		・丁寧な説明を心がけていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・子どもや保護者の意思の尊重を踏まえ、聞き取り等にて意向確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・個別支援計画の内容をお伝えし、同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・面談時や送迎時等で行えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	1	・保護者交流会を行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情相談窓口を設置し、契約時に説明を行っている。また相談の申し入れがあった際には適宜対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		・お便りやホームページの定期的な更新をしていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・管理表を作成し、きちんと把握してある。	・個人情報の取り扱いに関しては今後も十分に注意し、徹底していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・発達の特性や成長に応じ、わかりやすい方法で対応している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・より地域の方々との関係作りを行っていく。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・定期的に訓練を行っている。 ・委員会による研修、訓練が行われている。 ・玄関にマニュアルの冊子を準備している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・BCP委員会を設置している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・入所の際のフェイスシートや連絡帳などでやりとりをしており、把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		・可能な限り、アレルギー疾患に対する知識を身に付けている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・委員会がありできている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・日頃から職員間で共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・事業所内だけでなく、社内で事例を共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・会社内で委員会を設置している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・虐待防止マニュアルを策定し、設置している。	・虐待防止に向け日々意識向上に努めていく。	